

ついに実現！富士山で自転車イベント・9月26日(日) 国内最大級のヒルクライムレース開催

コースは日本屈指の山岳周遊観光道路「富士スバルライン」。今年9月26日(日)富士山で、自転車の本格的ロードレースが開催されることが決定しました。

富士北麓公園をスタートし、「富士スバルライン」を經由して五合目をゴールとする約26km(標高差約1200m)のヒルクライムレースです。「富士スバルライン」で車輛の交通規制をして開くイベントは初めてであり、サイクリストのみならず、新しいスポーツイベントとして注目されます。

またこの大会は、山梨県・静岡県制定の『富士山憲章』の趣旨に沿い、自然環境を守るキャンペーンも兼ねており、富士山を舞台とした自然環境保護意識の向上を参加者のみならず、広く社会にアピールする事を目的としています。参加者は3000名を予定しており、参加受付の開始は6月1日(火)です。

大会企画趣旨

富士山は、その雄大さ、気高さにより、古くから人々に深い感銘を与え、「心のふるさと」として親しまれ、愛されてきた山です。しかし、自然に対する過度の利用や社会経済活動などの人々の営みは、富士山の自然環境に様々な影響を及ぼしています。

環境にやさしい乗り物である自転車の大会の開催を通じて、県内外の多くの人を集め、富士山の自然環境保全に対する意識を高めてもらい、「富士の国 やまなし」での新しい自然環境保全活動を推進してまいります。

記

- この大会は山梨県・静岡県制定の『富士山憲章』の趣旨に沿い、自然環境の保全への取り組みに対する意識を高める活動です。
- 大会参加料の一部を山梨県の自然環境保全推進活動を目的に「富士山をきれいにする会」に寄贈し、全国各地から集まる参加者に富士山の環境保全意識の向上を目指します。
- ゴミ持ち帰りキャンペーン
参加者や応援などで、この日に富士スバルラインを訪れる全ての人に、持ち込んだものはすべて持ち帰りを義務とするキャンペーンを実施します。
- 大会会場にて「富士山を守ろう！」環境アピール活動の実施
会場に専用ブースを設置し、パネル展示にて、ゴミ問題・し尿問題などの実態や、現在実施している環境保全活動を紹介します。
また、環境省・国土交通省が後援する『エコサイクル・マイルレージ(<http://ecomile.jp/>)』と連携し、大会参加者の総走行距離をCO2削減量に換算し、本大会の「環境貢献度」をアピールします。

『富士の国 やまなし』Mt.富士ヒルクライム大会実行委員会

ヒルクライムとは

◆高みを目指すタイムトライアル競技

峠・山頂をゴールに設定し、上り坂をひたすらペダルをこぎ、ゴールタイム(所要時間)を競い合う

◆安全性

平地のロードレースに比べ、走行速度はトップ選手でも時速30km程。

接触や落車事故が少なく、安全性が高い。

◆ビギナーでも挑戦できて、人気上昇中

ロードレーサー、マウンテンバイクでも参加可能。サーキットや公道を高速で走ることが不安なビギナーでも参加しやすく、人気が高まっている。

富士ヒルクライムの開催によせて

『現役時代、私自身もトレーニングで同じコースを走りましたが、雲海や富士五湖を見下ろせて景色は抜群。標高が上がるにつれてガレ場が増え、「これぞ富士山」という印象を受けることでしょう。』

全体的にコースが広く、ペース配分もしやすいので初心者から上級者まで幅広い方楽しんでいただけたと思います。五合目付近は特に勾配がゆるく、上級者にとってはここでいかに速度を出せるかが勝負どころ。前日から現地に入り、富士五湖周辺で調整がてらサイクリングをするのも良いでしょう。家族で楽しめるイベントとしてもオススメです。サイクリストとして、山梨県民として、この大会を大変楽しみにしています。』



今中大介／ツール・ド・北海道3勝など国内タイトルを総なめにした後、94年にイタリアの名門プロチームと契約。97年に引退後、オリジナルブランドを設立。日本のロードバイク界の象徴的存在。

大会要項

主催	Mt.富士ヒルクライム大会実行委員会(構成団体: 山梨県自転車競技連盟・山梨県サイクリング協会・富士吉田陸上競技協会)
後援	環境省(申請中)・山梨県・山梨県議会・富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村・山中湖村・忍野村・富士山憲章山梨県推進会議・富士山をきれいにする会・財団法人日本自転車競技連盟・財団法人日本サイクリング協会・財団法人富士吉田体育協会・富士吉田市外二ヶ村恩賜県有財産保護組合・鳴沢富士河口湖恩賜県有財産保護組合・山梨県観光物産連盟・富士五湖観光連盟・富士山五合目観光協会・山梨県自転車軽自動車協同組合・朝日新聞社・日刊スポーツ新聞社NHK甲府放送局(申請中)・山梨日日新聞社・YBS山梨放送・UTYテレビ山梨
協賛	富士急行株式会社(予定)、その他
協力	NPO法人コラボレーター・エコサイクルマイルレージ(http://ecomile.jp/)、その他
企画協力	ランナーズ／月刊ファンライド
開催日	2004年9月26日(日)
会場	スタート～山梨県富士北麓公園大駐車 / ゴール～富士山五合目(山梨県側)
競技内容	山梨県道富士スバルライン(正式名称・県道富士河口湖線富士線)の登坂コース、約26km(道路)でのタイムトライアル
参加定員	3000名(予定)
参加料	一般/8000円、高校生/6000円(予定) 環境保全活動寄付、富士スバルライン通行料、傷害保険代含む
参加資格	16歳以上の健康な男女、制限時間内に完走できる自信のある人

Mt.富士ヒルクライム大会ホームページ: <http://www.funride.jp/event/fhc/>